

# 2022年度 法科大学院

## 第1期入学試験問題

### 3時限

### 刑法

### (論文式)

## 試験時間 50分

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

## [刑法]

次の事例におけるXの罪責について論じなさい。

(事例)

Xは、親しく交際していた暴力団組長Vを頼って外国から来日し、Vから紹介された土木工事会社で働いていたが、就労中に左足首を骨折した。

そのうちにXは、帰国の念が募り、帰国する旨告げて組事務所を出た。そうしたところ、自己の好意を無にされたと感じたVは激高し、空港に向かっていたXを捕まえてVらが乗車する自動車内に押し込み、Xを連れてVの事務所に戻った。

Vは、同事務所でXに強度の暴行を加えた上、Xが逃げ出せないように監視し、Xが少しでも不満を漏らすや、暴行を繰り返し加えた。

Xは、ますます帰国の念を強めたが、同事務所から脱出してVらによる監視と暴行から逃れるには、(木造の)事務所を燃やしてしまうしかないと思うに至り、ある日の午前1時頃、監視役の者がタバコを吸うため退室した隙に、ライターで事務所に置いてあった新聞紙に火を付け、火事騒ぎに乗じて逃げ出した。新聞紙は燃え上がり、事務所内のデスク、テレビが燃えて灰になり、事務所の天井にも火の手が及んだが、自動火災報知器が作動し、スプリンクラーから放水されたことで、天井1メートル四方が黒焦げになるに止まった。この事務所は、日中はVらが仕事に使っていたが、午後5時から翌朝9時までは、誰もいなかった。Vの自宅は、事務所から歩いて3分の場所にあったが、事務所とV宅とが専用の通路等で接続されてはいなかった(両建物は、同一の敷地内にある別個の不動産であった)。